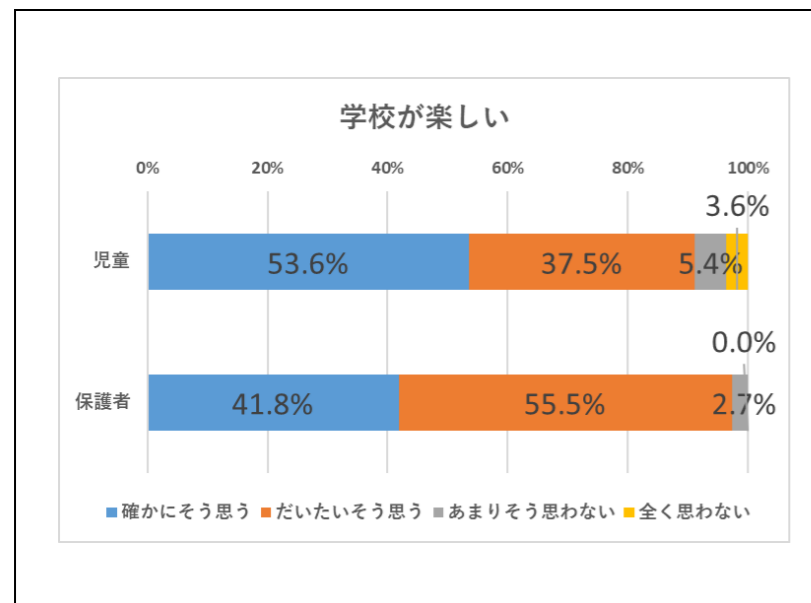
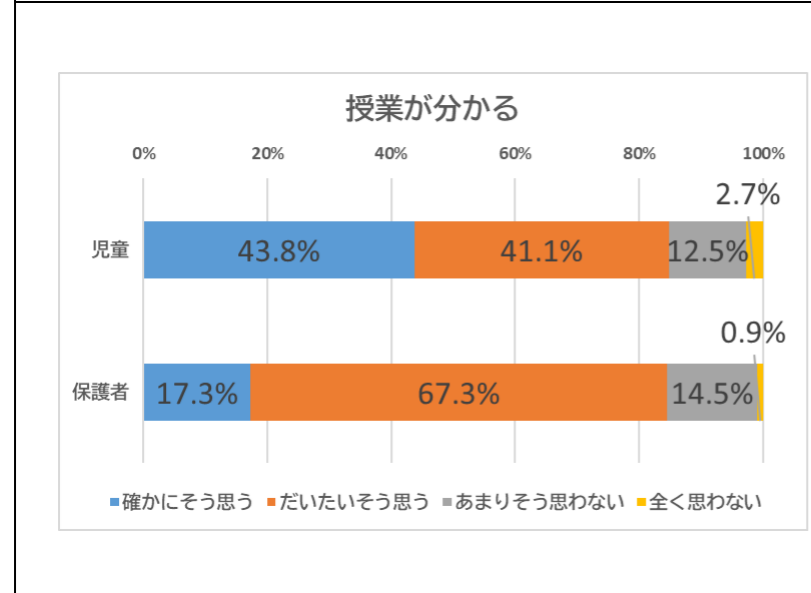


令和2年度牧之原市立坂部小学校学校評価(後期)集計結果

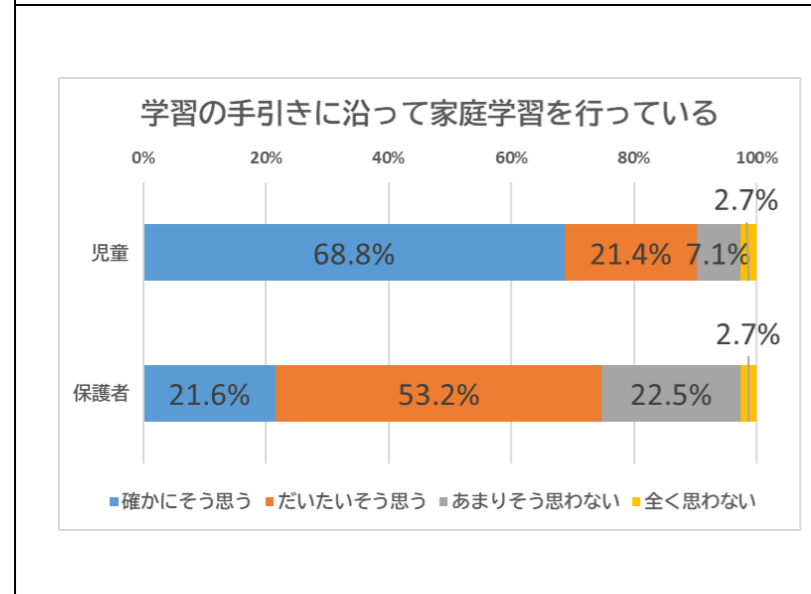
大変お忙しい中、本校学校評価(後期)に御回答いただきありがとうございました。皆様からいただいた学校評価を集計したものを報告します。いただいた貴重な御意見は、本校の今後の教育活動に生かしていきます。



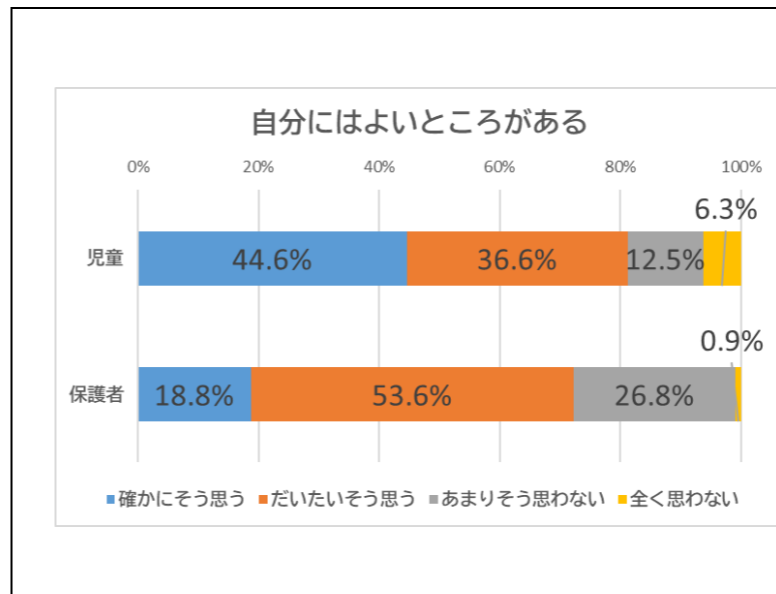
「お子さんは学校が楽しいと感じていますか」という質問に対し、「確かにそう思う」「だいたいそう思う」と答えた保護者は 97.3%、子供は 91.1%となっております。前期に引き続き、「学校が楽しい」と感じている子供が多いこと、また、そう思ってお子さんを送り出してくださっている保護者が多いことは、学校側としては大変うれしいことです。これからも、一人一人に寄り添い、夢中になって取り組む姿を目指して支援していきます。御家庭でも、学校での様子、友達とのことなど、お子さんの話を聞いてあげてください。



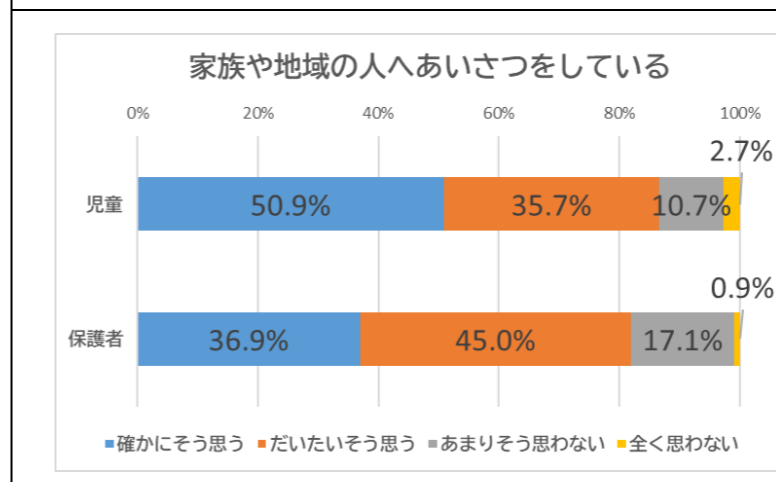
「お子さんは、授業が分かっていると感じますか」という質問に対して、84.6%の保護者が「確かにそう思う」「だいたいそう思う」との回答がありました。子供は、84.9%が「授業が分かる」と答えています。ただ一方で、2.7%の子供が「全く思わない」と回答しています。学校としては、全ての子供が「授業が分かる」「授業が楽しい」という思いを持てるようにさせていきたいと考えています。今後も子供が思わず考えたいような学習問題との出会いを設定したり、友達と話し合いながら課題解決したりするなど、工夫を凝らした授業、主体的な取組のなされる授業が展開できるよう、授業展開を工夫していきます。



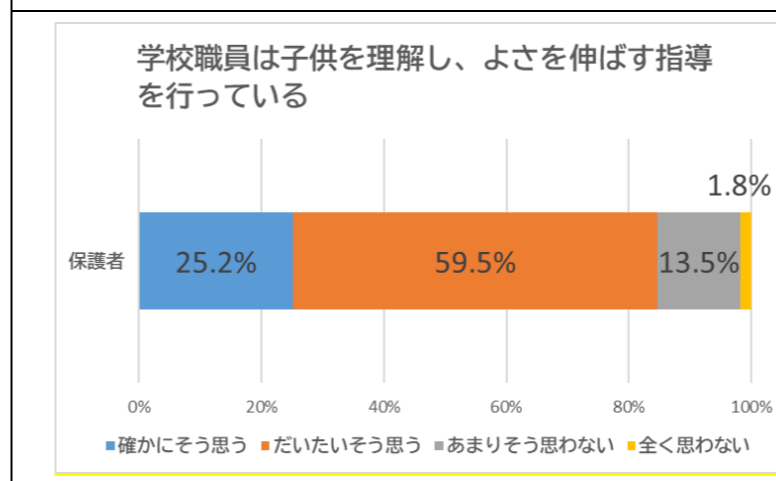
子供への質問「学習の手引きに沿って学習しているか」、保護者への質問「家庭学習を丁寧にやっているか」と、聞き方が若干違うため、両者の回答にずれが見られたようですが、前者(子供への質問)は 90.2%、後者(保護者への質問)は 74.8%という結果でした。毎日、家で集中して学習するという事は、全校の子供に身につけさせたい習慣です。また、やらされる宿題ではなく、自分のためにやる学習にと、意識が変わっていくよう、学校側も家庭学習の出し方、取り組みませ方を工夫していきます。具体的には、ただ単に書き取りを行うことだけでなく、学んだ漢字を使って文を書くなど、活用できることまで実感できるように考えていきます。



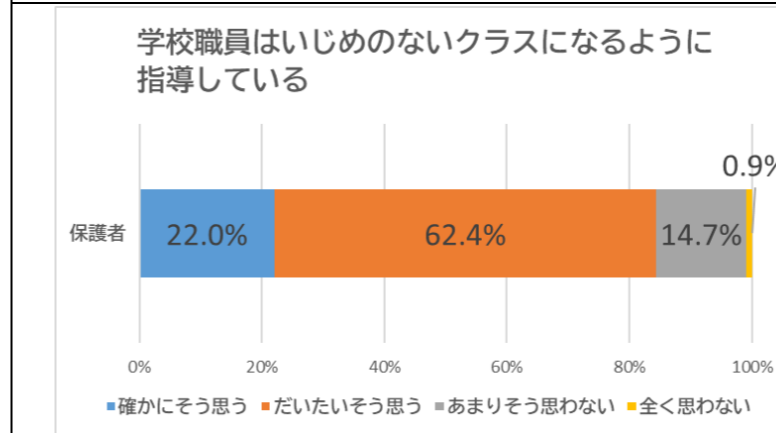
「お子さんは自分のよさを自覚していますか」という質問に対して、72.4%の保護者から「ほぼ自覚している」との回答をいただきました。子供たちへの質問は、「自分のよさを自覚していますか」でしたが、81.2%の子供たちが自分のよさを分かっていました。今回、数字にはなかなか表れませんでした。今回、数字にはなかなか表れませんでした。今回、数字にはなかなか表れませんでした。毎日学校の至る所で、子供たちは「よさ」を発揮しています。友達に優しく声をかけるなど、子供たちの思いやりの姿を多く見かけますが、そうした言動をよさと気づいていない子供もいます。今後も、子供たちが自分のよさに気づいていけるように、学校と家庭で、認めたり褒めたりするのを行っていきましょう。



あいさつの大切さについては、前期に引き続き、生徒指導主任、各担任を中心に、常に子供に話をしています。校内では、低学年の子供の元気なあいさつが響いています。しかし、学校から出ると、あいさつのできる子供が減ってしまっているのも事実です。集団登校をする際、高学年がリーダーとして相手に聞こえる声を出していないグループもあり、あいさつが地域の方にまで届いていないということがあるようです。「進んであいさつ」ということと同時に、「相手に伝わるあいさつ」「元気なあいさつ」のできる子供を継続して育てていきます。

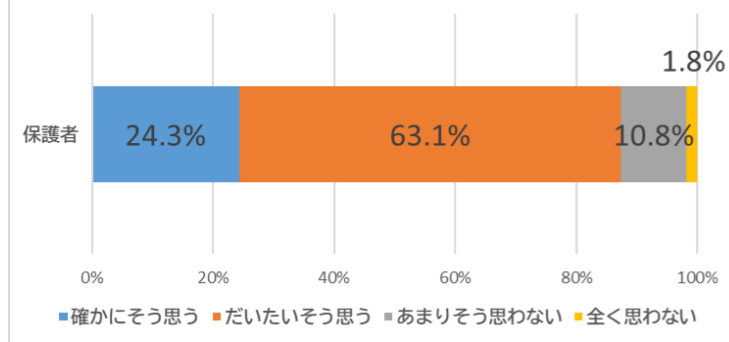


学校職員は、情報共有をしながら、常に 114 人の子供一人一人を理解しようと努めています。子供たちのよい行動、表れについてはその場で褒め、認め、さらに学校全体へ広めています。また逆に、気になる行動が見られた時には、その場で丁寧に指導をしています。ただ 1.8%の方からは、全く思わないとの意見がありましたので、引き続き、子供たちのよりよい成長のために、家庭と連携していきます。



いじめは、絶対にあってはならないことです。だからこそ、学校職員は、常に目を配り、学級の出来事に気を配っています。些細な出来事がもめ事に発展してしまった時には、両者からじっくり話を聞いて解決できるまで見届け、指導をしています。家庭でも、お子さんの話の中で気になることがありましたら、すぐに担任等に御連絡ください。

学校職員には子供のことなどについて相談しやすいですか



学校職員は、常に子供の話に耳を傾け、子供の心に向き合って話をするように心がけています。担任をはじめ、学校職員誰もがこのことを意識しています。昇降口や廊下で、または職員室などで、子供たちと触れ合う機会がありますので、いつでも積極的に声をかけ、子供たちとのコミュニケーションを図っています。小規模校の強みである「全職員が全校児童の担任」という考えのもと、今後も相談しやすい環境づくりを心がけていきます。

学校教育全般に対して（保護者記述欄より）

- ・最近、家庭学習の漢字練習のポイント制が始まったことで、「よーし、今日は3回やっちゃおうかな!」「〇〇君はもう1000点行ってすごいんだよ!ばくもがんばるぞー!」と意欲をもって楽しそうに取り組むことができている。
- ・毎日、元気よく「ただいまー」と帰ってきます。その声で、今日も学校が楽しかったんだと安心します。楽しく学校に通えていることに感謝しています。
- ・漢字名人など、『賞状』をもらうことを目標にして、漢字もきれいに書くようになってきました。漢字で「花マルをいくつもらえた!」と嬉しそうに数えています。
- ・毎日、学校での出来事を楽しそうに話してくれます。先生の話もよくするので、安心して過ごせていることがよくわかります。おたよりでは、クラスの様子を丁寧に伝えてくださり、音読カードには必ず先生がその日の様子を記入してくれるため、嬉しいです。いつもお忙しい中、ありがとうございます。
- ・みかん狩り、とうもろこし狩り、虫取りなど、色々楽しく体験させていただき、ありがたいです。
→子供たちの元気、やる気、これが私達教職員にとって、何よりもうれしいことです。これからも、この子供たちの元気、やる気が継続していきますよう、職員一同、気を引き締めて子供たちを支援・指導していきます。今後も、子供たちの健やかな成長のために、御理解、御協力をよろしくお願い致します。
- みかん狩りやとうもろこし狩りは、坂部地区ならではのものです。地域の方々に、優しく、なお、温かい言葉をかけていただき実施できている活動です。地域の方々に支えられていることに感謝するとともに、ふるさと坂部を愛する貴重な体験になっていることを実感します。ありがとうございます。
- ・昨年に比べて、きちんと挨拶できる子が少なくなったと感じます。朝の立哨当番の時、「おはようございます」と声かけをしても返してくれる子はほんの一部。あとは無視して歩いて行きます。
→前期に引き続き、子供たちの挨拶についての御意見、ありがとうございます。学校では、担任による指導（朝の会や帰りの会）や昼の放送や集団下校の時の生徒指導主任による指導を行っておりますが、なかなか子供たちに、身につかないのが現状です。学校では、引き続き、指導をしていきますが、ぜひ、各家庭でも、まずは自分のお子様へ声をかけていただき、挨拶の和を広げていくよう、御協力をお願いします。家庭と学校の両輪で、子供たちに挨拶をする習慣を身につけさせたいと考えております。よろしくをお願いします。

- ・いつも家庭学習に45分以上時間がかかっているのですが、少し前に、自学ノートを校長先生に褒められたと嬉しそうに（でも、少し恥ずかしそうに）報告してくれました。それからの家庭学習では、相変わらず時間がかかっているのですが、以前より、さらに丁寧に書いたり、詳しく調べたりとこだわっていて、楽しそうにやっているなあと感じます。
- ・家庭学習についてですが、学習の手引きにそった時間ほど行えていません。学校から出されたもの以外はなかなかやりません。決められた時間いっぱいができる内容を提示していただけたらうれしいです。（これで手いっぱいという子もいるかもしれませんが、高学年になり、中学校を見据えた時に、この量じゃ少なすぎるんじゃないかと、自学のような自ら内容を考えるような宿題のやり方を知らないまま、与えられたものしかこなせなくなるんじゃないかと不安です。
→家庭学習について貴重な御意見をありがとうございました。学習の手引きを基準に、1年生から6年生までの家庭学習について、毎年、職員で見直しや相談をし、年度の初め頃（例年ですと、4月の授業参観会がある日、今年度は休校が解除された後の6月）、学校から通知を出しております。本年度も、改めて、この貴重な御意見とともに職員で見直しをしていきます。さらに、高学年として、中学校に続く学習になりますよう検討していきます。

- ・引き落としの口座の選択を増やしてほしいです。せめて、静岡銀行を入れてほしいと、切に願います。
→本校では、諸会費の引き落とし用として、農協への口座開設をお願いしています。それを農協以外の所にすることができるか、ということについては、農協や静銀に確認したところ「可能である」ということでしたが、今後、様々な手続きが必要となります。そこで、せっかく行うので、その他の銀行とも確認をとりながら、保護者の皆様より快適に引き落としができるよう、令和4年度開始を目途に、今後準備を進めていきます。
- ・今年はコロナもあり、学校とのかかわりが皆無に近いため、学校・職員に関する事は評価できません。今までの坂部小学校とは違う感じがします。どちらかというと、小学校というよりも中学校のようで、少し距離を感じています。
→担任としては、学級だよりや本読みカードなどで、お子さんのことなどを伝えるようにしてきました。学校としては、ホームページや学校だよりを発信して、学校の様子をお伝えしてきたところです。コロナ禍であるため、学校へ足を運んでいただく回数が減ったことは事実です。今後も学校の様子を知っていただくことができるよう、より一層の努力を行っていきます。
- ・6町内は家庭数も少なく、今後も多くなる見込みもない。部員、運営委員を毎年出していくのは大変。昔みたいに、農家や自営など時間の都合をつけやすい親も少ないので、PTA役員を選出や組織の再編を考えてもらいたいです。
→このことについては、PTA本部役員の皆様にお伝えし、今後のPTA活動がスムーズに運営できるように検討していきます。